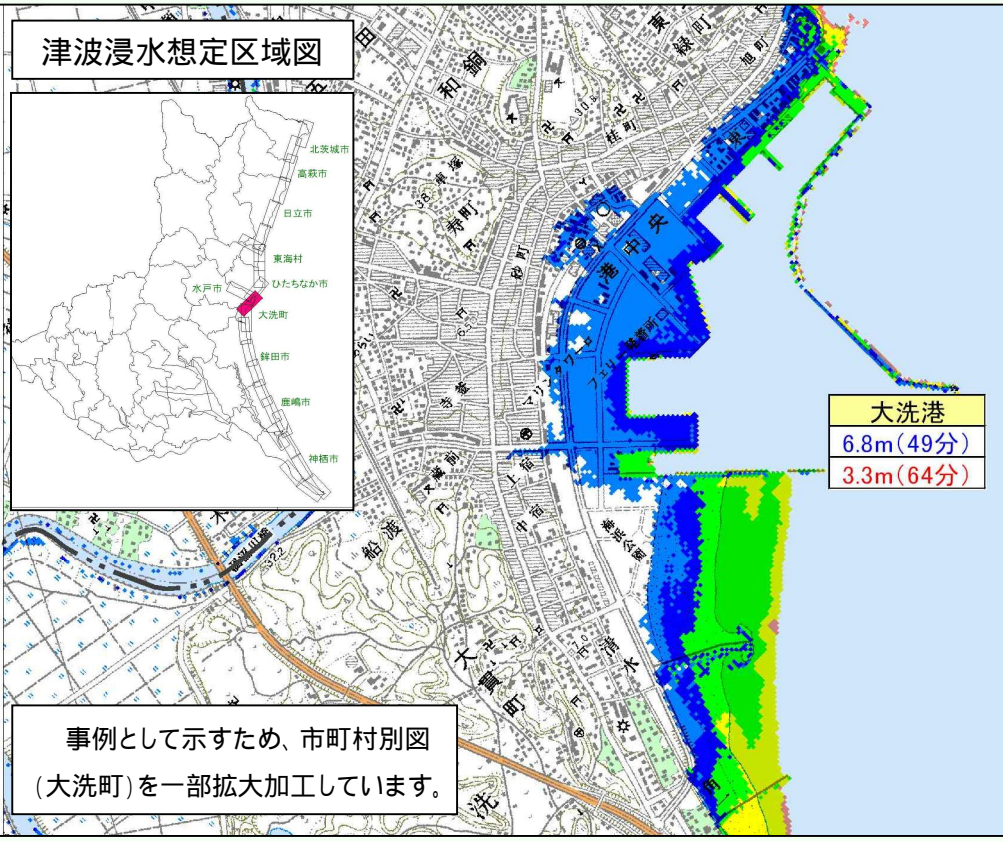


茨城県初の津波浸水想定区域図は県民の生命を守ります



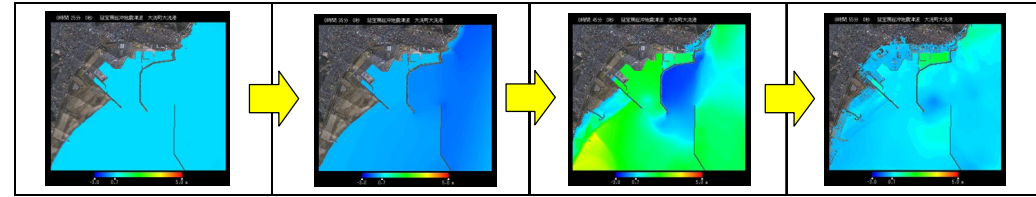
事例として示すため、市町村別図
(大洗町)を一部拡大加工しています。

- 平成16(2004)年12月に発生した「インド洋大津波」では約22万人の尊い命が失われました。
- 茨城県も、津波の来襲を受けやすい地域です。
- これまでは津波が来襲した場合、どの様に避難したらよいかわかりませんでした。
- そこで、最新のシミュレーション技術を用いて想定される津波を予測し、あわてず安全な場所へ避難行動ができるよう、「茨城県津波浸水想定区域図」を作成しました。
- これにより、市町村が作成する「津波ハザードマップ」の基礎として活用され、迅速な避難行動により、県民の生命が守られます。
(予測結果：最悪(避難率0%)の場合、最大で約3,200人の死者が発生)

凡例

津波浸水予測範囲 (2つの想定津波の最大浸水深)		各地で予測される 最大遡上高・津波到達時間	
■ 0.5m未満	■ 1.0m未満	地区名	
■ 0.5m以上	■ 2.0m未満	延宝房総沖地震津波の 最大遡上高(津波到達時間)	
■ 1.0m以上	■ 4.0m未満	明治三陸タイプ地震津波の 最大遡上高(津波到達時間)	
■ 2.0m以上	■ 6.0m未満		
■ 4.0m以上	■ 6.0m以上		
■ 6.0m以上			

陸域遡上CG〔2次元動画〕 作成数：港湾・漁港など主要な16箇所



津波の災害イメージを分かりやすく示すため、CG(動画)も作成しました。

県内各地の浸水想定区域図やCGはホームページで公開しています。
<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/tsunami/index.html>